

## 【ICT街づくりの成果事例】

### センサーネットワークによる鳥獣被害対策【長野県塩尻市】

※総務省からの支援により、ICT街づくり推進事業（H24～25年度）を実施。

#### ○取組前の状況

- ・イノシシ等が水田を荒らすことによる米収穫高の減少や耕作放棄地の拡大が年々深刻化
- ・電気柵や罠の設置などハード面での対策を実施するも、効果は限定的

#### ○取組の概要

- ・塩尻市が同市内の北小野地区において、水田周辺に獣検知センサーや罠捕獲センサーを設置。
- ・獣検知センサーが獣を検知すると、①サイレン音やフラッシュ光で獣を追い払うとともに、②検知情報がクラウドを介して農家や猟友会に地図付のメールで配信され、迅速な追い払いや捕獲に寄与。
- ・罠捕獲センサーが罠に獣が掛かったことを検知すると、その情報がクラウドを介して農家や猟友会に地図付のメールで配信され、罠に掛かった獣の迅速な撤去に寄与。（平成24～25年度：計6匹を捕獲）

## 取組の成果

北小野地区（稲作面積約27ha（※1））における実証の結果、被害面積が減少、稲作収入の増大が期待。

	平成23年度	平成24年度 (実証1年目)	平成25年度 (実証2年目)
被害面積(※2) [%]	85	20	0
稲作収入(※3) [万円]	354	1,890	2,362

※1 塩尻市全体の稲作面積（約700ha）の約4%

※2 地元農家への聞き取り調査に基づき、日本ソフトウェアエンジニアリング株式会社が推計

※3 耕作可能面積及び1ha当たりの平均稲作収入を基に、日本ソフトウェアエンジニアリング株式会社が推計



罠捕獲センサー



獣検知センサー

【参考】地方創生ニュース <http://nipponianippon.or.jp/local-creation/news/1555.html>